



# 今月の大槌とびと

ハイスこづち

三浦正展さん

3月26日(木)に小鎚地区(寺野多目的体育館近く)で大槌町社会福祉協議会小規模多機能型居宅介護事業所「ハイスこづち」の落成式がありました。今月号は「ハイスこづち」の管理者、三浦正展さんです。

## きっかけは「恩返し」の気持ちから

以前は県外で勤めていましたが震災をきっかけに大槌に戻り、被災した自宅の片づけをしていました。戻ってきた当初は、いろいろなものが不足している中、一人で作業することが多く、なかなか作業を進めることができませんでした。そんな時、全国から来たボランティアの皆さんに助けをもらい、その恩返しを少しでもできればと思い、大槌町社会福祉協議会災害ボランティアセンターで勤めはじめました。ボランティアの受付がある程度落ち着いた後は、生活支援相談員の仕事をし

ながら、介護関係の資格を取得して、デイサービスなど介護の現場を経験させてもらい、今回「ハイスこづち」の管理者を務めることになりました。

## 住み慣れた地域で安心して暮せるように

介護を受ける人やそのご家族は初めてのことでわからないことが多く、それぞれ不安や悩みを抱えていることがほとんどです。しかし、いきなり病院や長期の介護施設を利用することにためらいがあります。そんな時、地域に住みながら安心して介護を受けることができる環境があることで、少しでも負担を減らすことができたいと思います。「ハイスこづち」では、デイサービスのように入れる「通い」、自宅への「訪問」、宿泊しながら利用する「泊り」という主に3つのサービスを提供しています。利用者さんの希望を聞きながら可能な限り、住み慣れた地域で暮らしながら介護を受けることができるよう支援します。利用については、介護保険の要介護認定を受けることが必要になりますので、一度町役場(長寿課)に相談してみてください。